



藤沢記者クラブ各位

市民生活に関する意識調査の結果について ～快適度・愛着度などすべての項目で前年比アップ!～

「市民生活に関する意識調査」は、総合計画にかわる、時代に即した新たな仕組みとして策定した「藤沢市市政運営の総合指針 2016」（総合指針）の基本目標等に関するベンチマークとしているアンケートで、平成 25 年度から実施しています。

このたび平成 26 年度調査の速報値を集計しましたのでお知らせします。

今後は、これらの調査結果を分析し、より良い施策のあり方や事業展開につなげていきます。

<調査の概要>

- ・対 象 無作為抽出した 20 歳以上の市民 約 3,000 人
- ・実施期間 2014 年 10 月 6 日から 10 月 22 日まで
- ・回 収 数 1,345 件（回収率 44.2%）

<基本目標等に関する調査結果>

総合指針の基本目標等に関する調査結果は、次のとおりです。

アンケート内容	26 年度	25 年度	差
誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまちであること。	72.9%	69.7%	+3.2%
子どもが大人になっても愛着の持てるまちであること。	76.5%	70.3%	+6.2%
災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること。	43.4%	38.6%	+4.8%
地域の記憶や文化が継承され、発展すること。	47.4%	43.1%	+4.3%
まちと自然環境の調和がとれていること。	65.0%	62.6%	+2.4%
子どもを安心して育てられる環境があること。	68.2%	64.5%	+3.7%
保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと。	69.4%	65.3%	+4.1%
産業の活力を高め、地域が元気になること。	34.1%	30.4%	+3.7%
移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること。	54.0%	51.4%	+2.6%
市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること。	42.8%	37.6%	+5.2%

※ この結果は、「無回答」「わからない」を除いた回答の中で「よくできている」「だいたいできている」の合計の割合を算出したものです。

*この資料に関する問い合わせ先

藤沢市 企画政策部 企画政策課

担当： 臼井

内線： 2173

直通： 0466(50)3502

< 市政運営の総合指針における基本目標についての回答状況 >

(1) 平成 26 年度調査

質問項目	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	分からない
誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまちであること。	6.4%	60.3%	19.6%	5.2%	8.5%
子どもが大人になっても愛着の持てるまちであること。	8.6%	54.0%	15.6%	3.7%	18.2%
災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること。	3.2%	32.0%	35.8%	10.1%	18.9%
地域の記憶や文化が継承され、発展すること。	2.5%	28.8%	28.1%	6.6%	33.9%
まちと自然環境の調和がとれていること。	6.4%	49.4%	22.7%	7.4%	14.2%
子どもを安心して育てられる環境があること。	5.7%	47.1%	19.5%	5.2%	22.5%
保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと。	7.4%	54.2%	21.5%	5.6%	11.3%
産業の活力を高め、地域が元気になること。	2.1%	21.1%	33.8%	10.9%	32.2%
移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること。	5.1%	41.1%	29.2%	10.2%	14.3%
市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること。	3.1%	25.2%	28.0%	9.9%	33.8%

(2) 平成 25 年度調査

質問項目	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	分からない
誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまちであること。	5.7%	56.5%	20.8%	6.3%	10.6%
子どもが大人になっても愛着の持てるまちであること。	8.4%	48.8%	19.7%	4.5%	18.5%
災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること。	1.9%	28.6%	36.5%	11.9%	21.2%
地域の記憶や文化が継承され、発展すること。	2.6%	27.2%	31.3%	8.1%	30.9%
まちと自然環境の調和がとれていること。	4.1%	49.1%	25.2%	6.6%	15.0%
子どもを安心して育てられる環境があること。	4.5%	46.4%	21.8%	6.2%	21.1%
保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと。	6.2%	51.4%	24.6%	6.0%	11.8%
産業の活力を高め、地域が元気になること。	1.4%	19.6%	34.7%	13.3%	31.0%
移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること。	4.9%	39.0%	29.8%	11.6%	14.7%
市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること。	2.0%	23.3%	33.0%	9.1%	32.6%